

阿賀川渇水情報連絡会（令和5年8月30日）

大川ダムの上流量が7月から少ない傾向が続いたため、今後渇水となって各利水者の取水に支障が出る事態に備えて、8月30日（水）に阿賀川渇水情報連絡会を開催しました。

連絡会では、各利水者からの意見を伺い、大川ダムの運用など今後の対応について調整を行いました。

連絡会資料（抜粋版）については、下記のとおりです。

（この連絡会は、阿賀川の渇水時における関係利水者間の水利使用の情報連絡を円滑に行い、もって合理的な水利使用の推進を図ることを目的としております。）



令和5年度 阿賀川渇水情報連絡会

次 第

日 時:8 月 30 日(水) 9:30~10:30

場 所:阿賀川河川事務所 1階会議室

(WEB 会議併用)

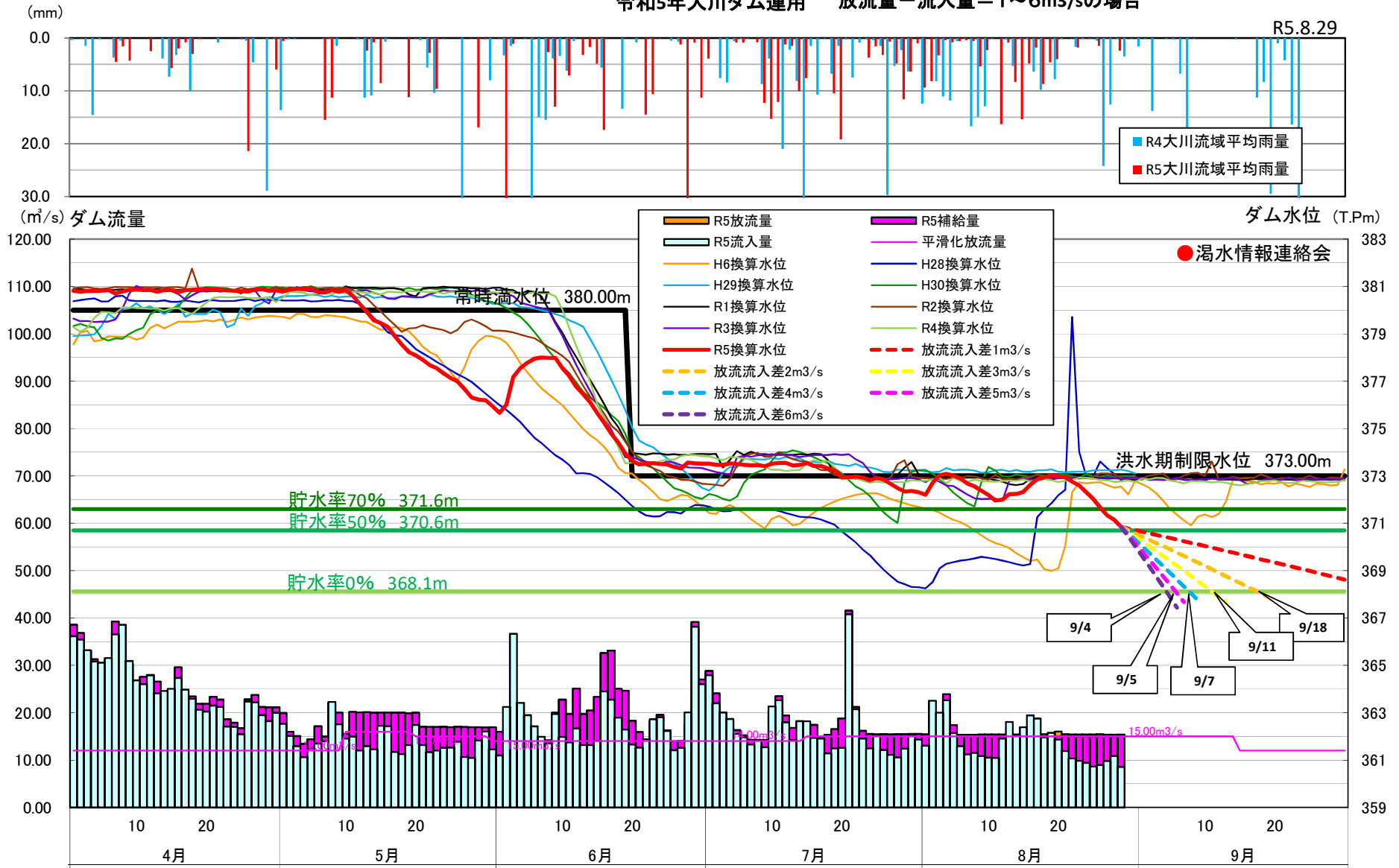
1. 開 会

2. 議 題









- (1) 大川ダムの運用状況について【資料1】
- (2) 気象状況について【資料2】
- (3) 今後の対応について

3. 閉 会

令和5年大川ダム運用 放流量-流入量=1~6m³/sの場合



8月29日11時発表 週間天気予報（会津地方）

福島県会津の天気予報（7日先まで）									
2023年08月29日11時 福島地方気象台 発表									
日付	今日 29日(火)	明日 30日(水)	明後日 31日(木)	01日(金)	02日(土)	03日(日)	04日(月)	05日(火)	
会津	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇時々晴 	
降水確率(%)	-/-/30/20	0/10/30/20	20	20	20	30	30	30	
信頼度	-	-	-	A	A	A	A	B	
若松 気温 (℃)	最高	36	37 (35~39)	37 (34~39)	35 (32~38)	36 (33~39)	36 (33~39)	35 (30~38)	
	最低	-	23	24 (23~25)	22 (20~23)	22 (21~24)	22 (20~24)	23 (21~25)	24 (22~25)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値									
降水量の7日間合計				最低気温		最高気温			
若松	平年並 14 - 38mm				19.3℃		29.0℃		

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 台風については、最新の台風情報を参照。
- 9月1日から2日にかけて、北日本を前線が通過する。
- 太平洋高気圧の本州付近への張り出しは、3日頃にかけて強く、その後は次第に後退する。
- 期間の後半は、沖縄地方は低気圧の影響を受ける。

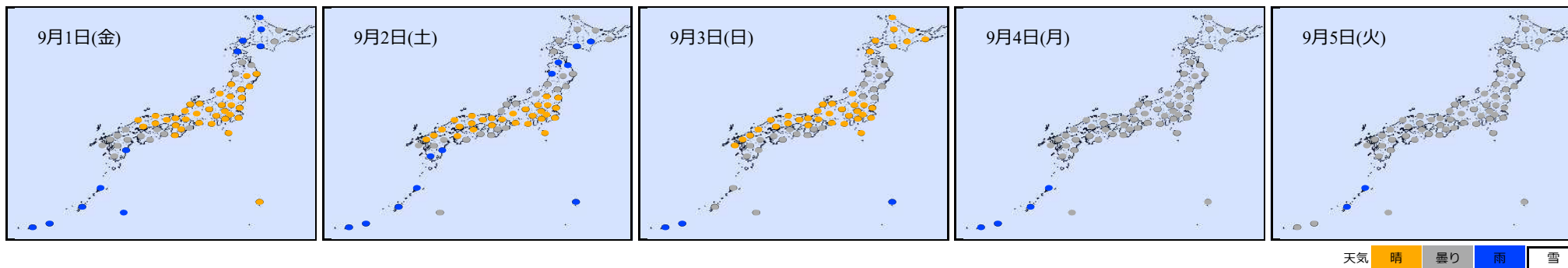
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 台風第11号の影響で、沖縄・奄美では31日から9月2日にかけて大しけとなる所があり、台風第11号の進路等によっては大荒れ、高潮となるおそれがある。九州地方でも9月1日から2日にかけて高潮となるおそれがある。
- 全国的に気温の高い日が多く、猛暑日やその近くまで気温が上昇する所もある。熱中症対策を講じるなど、健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

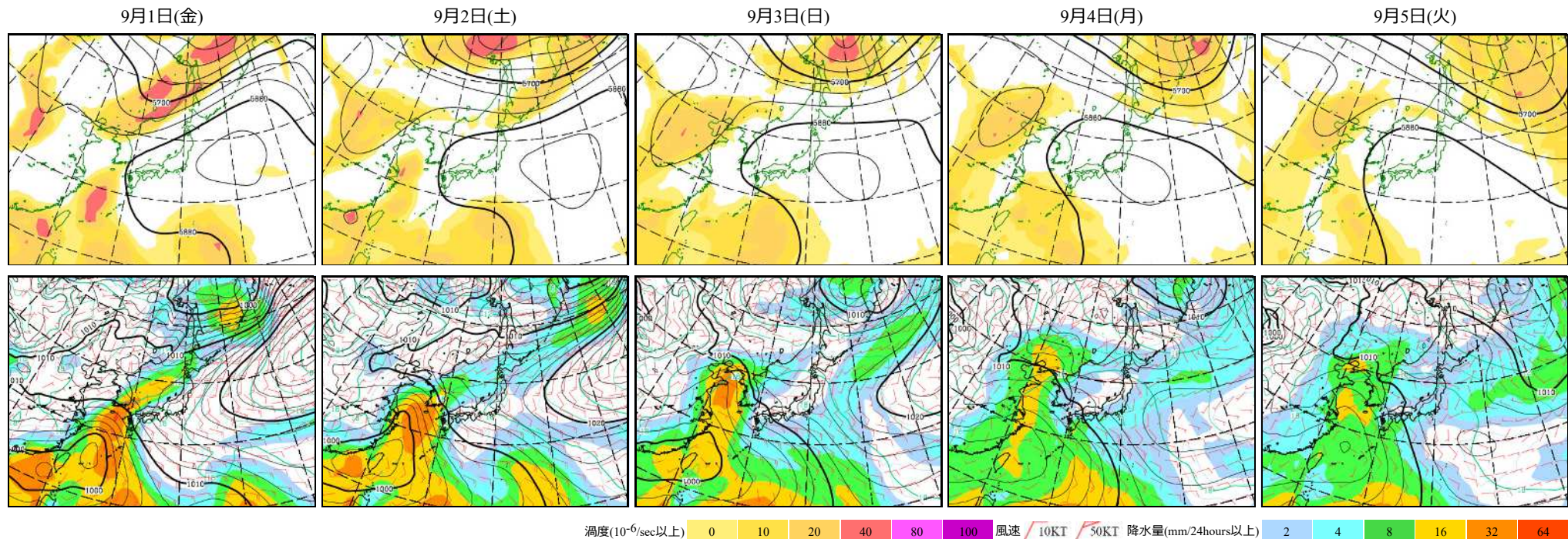
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

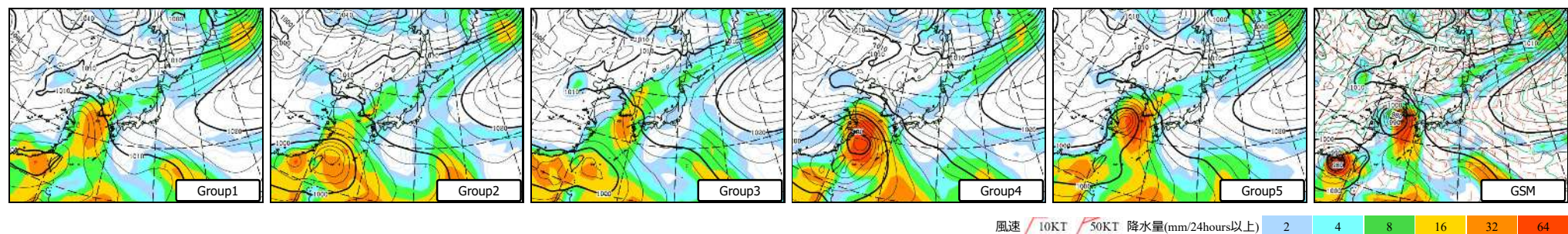


- 北日本は雲が広がりやすく、1日から2日は雨の降る所がある。
- 東日本から西日本は3日頃にかけて晴れる所が多いが、期間の終わりは雲が広がりやすい。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆9月2日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、9月1日から3日にサハリン付近を通過するトラフが浅くなった。サブハイおよび高気圧の本州付近への張り出しは2日から5日頃にかけて強まった。
- ENSの初期値変わりはGSM、ECMでも同様の傾向。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 最新の台風予報と、最新のENSを基本に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。

向こう1か月の天候の見通し 東北地方（08/26～09/25）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

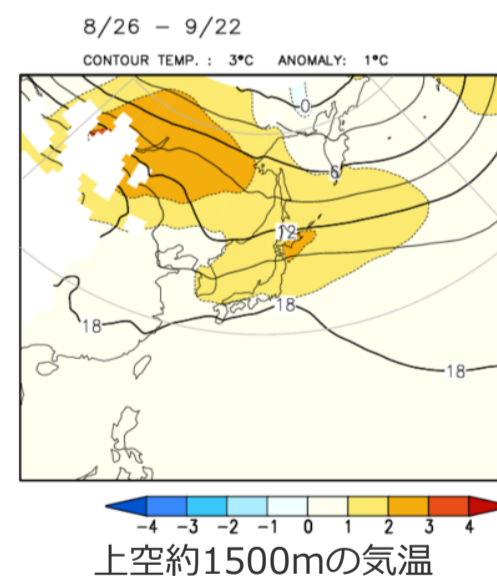
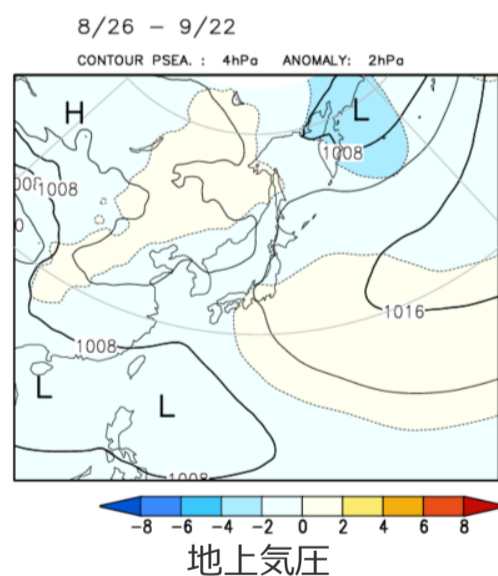
1か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
東北	日本海側	低10 並10 高 80% 高い 見込み	少30 並30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並30 多30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	低10 並10 高 80% 高い 見込み	少30 並30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並30 多30% ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される出現確率（%）です		<p>平均気温（1か月）</p> <p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40% 以上</p>	<p>降水量（1か月）</p> <p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40% 以上</p>	<p>日照時間（1か月）</p> <p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40% 以上</p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、日本の南東海上で高いですが、北日本付近では低い予測となっており、東北地方では気圧の谷や湿った空気の影響を受ける時期があるでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、北・東日本を中心に全国的に平年より高く、暖かい空気に覆われやすくとともに、南から暖かい空気が流れ込む時期もあるでしょう。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。

多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラッキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

週別の平均気温と天候

		平均気温（1週目） 08/26～09/01	平均気温（2週目） 09/02～09/08	平均気温（3～4週目） 09/09～09/22
週別の天候		天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	東北日本海側では天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	東北日本海側では天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
東北	日本海側	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
	太平洋側	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です				

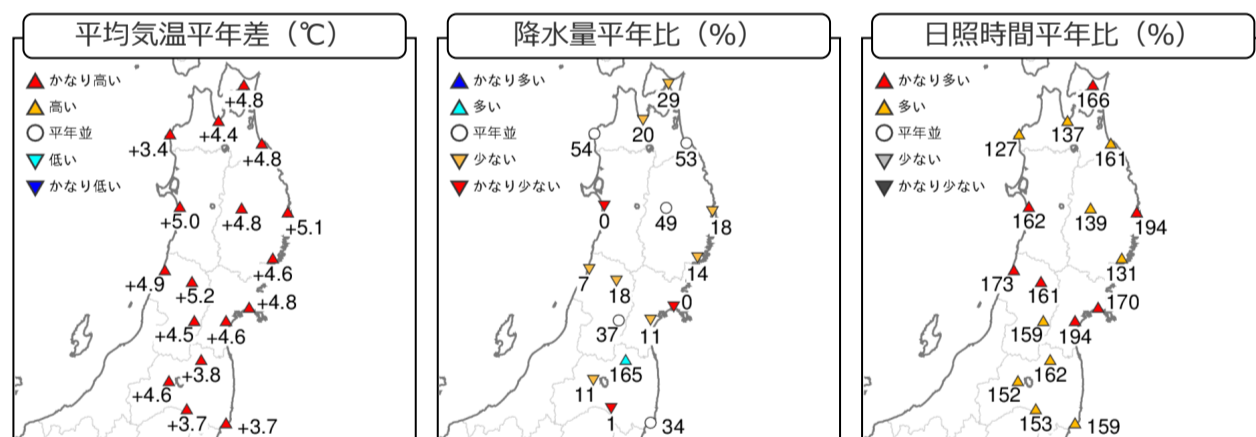
明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/tohoku1.html>) をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「[参考（確率予報の解説）](#)」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 08/17～08/23	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東北地方	+4.5℃ (かなり高い)	31% (少ない)	159% (かなり多い)
東北日本海側	+4.6℃ (かなり高い)	21% (少ない)	153% (かなり多い)
東北太平洋側	+4.5℃ (かなり高い)	37% (少ない)	163% (かなり多い)
東北部	+4.6℃ (かなり高い)	30% (少ない)	152% (かなり多い)
東南部	+4.4℃ (かなり高い)	32% (少ない)	165% (かなり多い)

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い） 見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い） 見込み

平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い(少ない)見込み
低い(少ない) 確率が50%以上	低い(少ない) 見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/tohoku1.html>



天気日数(晴れ日数及び降水日数)の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>



向こう3か月の天候の見通し 東北地方（09月～11月）

予報のポイント

- 向こう3か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年並か高いでしょう。

3か月の平均気温・降水量

		平均気温（3か月）	降水量（3か月）
東北	日本海側	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

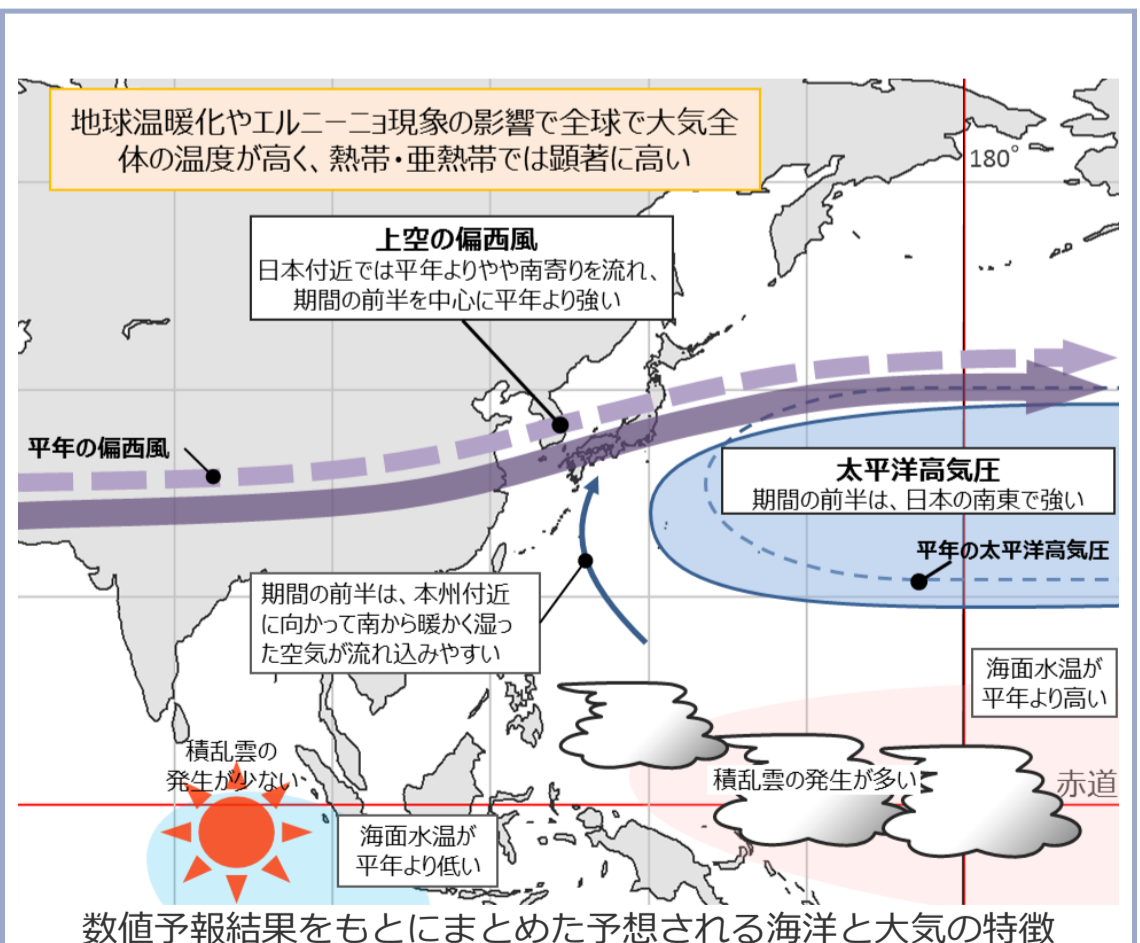
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/tohoku3.html>）をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化やエルニーニョ現象の影響により、全球で大気全体の温度が高く、特に熱帯・亜熱帯域では顕著に高いでしょう。
- 正のインド洋ダイポールモード現象が発生することと、期間の前半は、冬に終息したラニーニャ現象の影響が残ることにより、積乱雲の発生がフィリピンの東から西部太平洋赤道域で多いでしょう。このため、期間の前半は太平洋高気圧が日本の南東で強いでしょう。
- エルニーニョ現象の影響で偏西風は日本付近では平年よりやや南寄りを流れ、期間の前半を中心に平年より強いでしょう。
- 以上から、全国的に暖かい空気に覆われやすでしょう。また、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では、期間の前半は暖かく湿った空気に加え、前線の影響を受けやすでしょう。



月別の天候

09月	<ul style="list-style-type: none"> 東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
10月	<ul style="list-style-type: none"> 天気は数日の周期で変わるでしょう。
11月	<ul style="list-style-type: none"> 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

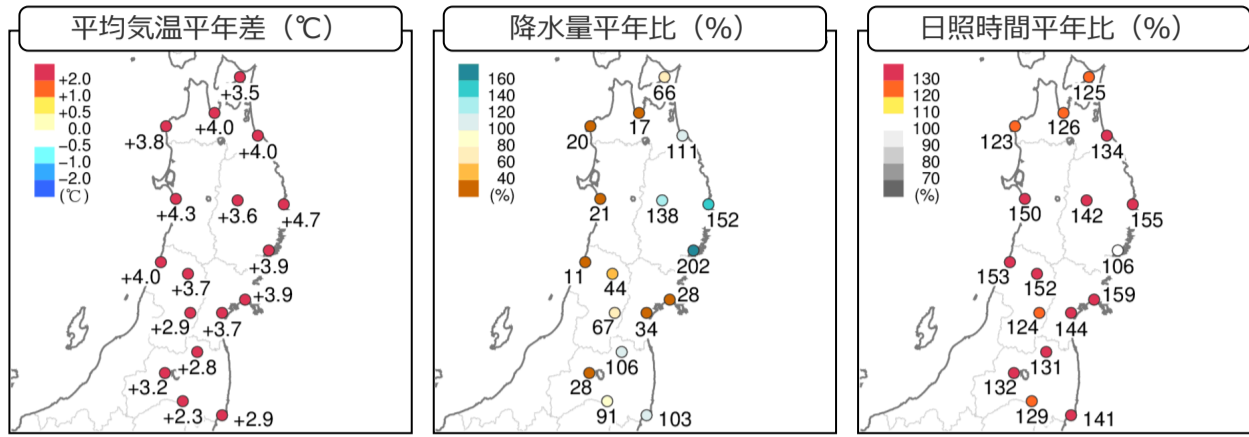
月別の平均気温・降水量

		平均気温 09月	平均気温 10月	平均気温 11月
東北地方		低20 並30 高50% 高い 見込み	低20 並30 高50% 高い 見込み	低30 並30 高40% ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です		<p>平均気温 9月</p>	<p>平均気温 10月</p>	<p>平均気温 11月</p>
		<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上 (%)</p>	<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上 (%)</p>	<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上 (%)</p>

		降水量 09月	降水量 10月	降水量 11月
東北	日本海側	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です		<p>降水量 9月</p>	<p>降水量 10月</p>	<p>降水量 11月</p>
		<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上 (%)</p>	<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上 (%)</p>	<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上 (%)</p>

08月（20日まで）の天候経過

- 暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は平年を上回りました。
- 太平洋高気圧に覆われる日が多かったため、日照時間は平年を上回り、降水量は平年を下回った所が多くなりましたが、前線や湿った空気の影響により、13日には岩手県岩泉町小本で日降水量が484.0mmと1977年の統計開始以降歴代第1位の値を更新するなど、太平洋側では降水量が平年を上回った所がありました。



(実況) 08/01~08/20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東北地方	+3.6℃	73%	137%
東北日本海側	+3.7℃	30%	137%
東北太平洋側	+3.5℃	103%	137%
東北北部	+4.0℃	91%	133%
東北南部	+3.3℃	57%	141%

9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない）見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/tohoku3.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

